

今日のトピック

## 世界同時株安と円高の進行

### ポイント1 ドル円は一時109円台へ

#### 世界的に株価が下落し円は全面高

- 4月5日のニューヨーク外国為替市場で、ドル円は一時1ドル = 109円台後半までドル安・円高が進行しました。この日は世界的に株価が下落し、リスクを回避する動きから円は全面高となりました。
- また国際通貨基金（IMF）のラガルド専務理事が同日、世界の景気回復に対するリスクが増していると言ったことも円全面高を促す材料となりました。



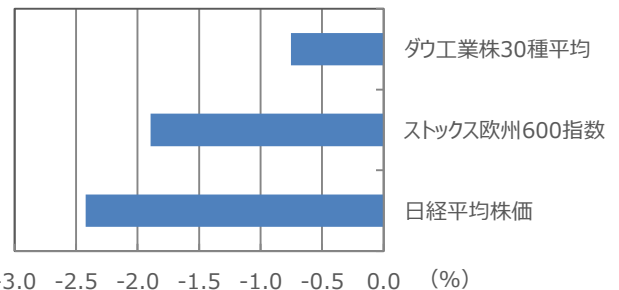
(注) データ期間は2016年3月1日～4月5日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 原油安も円高要因

#### 日本株は円相場次第の展開に

- なお足元で増産凍結に対する懐疑的な見方が強まり、原油相場が再び軟調に推移しています。エネルギー関連企業の業績悪化や、オイルマネーの投資引き上げで株価が下落するとの思惑から、原油安もリスク回避の円高につながっているようです。
- 4月6日の東京外国市場でドル円は110円台を回復し、日経平均株価は1万5,000円台後半で推移しています。目先の日経平均株価は、円相場に左右されやすい展開になると考えられます。

#### 日米欧の株価変化率



(注) 2016年4月4日～4月5日の価格変化率。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 一段の円高進行には警戒が必要

- 報道によれば安倍首相は4月5日、通貨安競争は避けなければならないと述べており、市場では円売り介入の可能性は低いとの見方が強まっています。そのため一段の円高進行には警戒が必要です。
- ただこの先、原油相場が反転上昇した場合や、通貨当局者から円相場の過度な変動を懸念する発言がみられた場合、為替はドル高・円安方向へ振れ、日本株も落ち着きを取り戻す可能性があります。

**ここもチェック!** 2016年4月 6日 「実質賃金」が4カ月ぶりに増加（日本）  
2016年4月 1日 日銀短観と市場動向 大企業の景況感悪化、政策前倒しの可能性も

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。